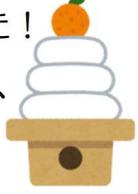


本はともだち

1月号
2026.1.22

今年もどうぞよろしくお願ひします。

冬休みの貸出では、ぶあつい本にチャレンジした人がたくさんいました！



今年も、友達と本を紹介したり、先生におすすめを聞いたりして、お気に入りの本をたくさん見つけてくださいね♪

また、図書の時間に、百人一首に取り組んでいるクラスもあります。

得意な札をどんどん増やして、百人一首マスターになりましょう！

今年の干支は「午（うま）」

「午」は、一日の中で正午（まひる）を表しています。太陽の光が最も強くなって、

「陽の気」が満ちる時間です。そのため、午年は「活発で前向きな年」「物事がスムー

ズに進みやすい年」「努力が形になりやすい年」といわれています。

~~~~~

馬がでてくる本

~~~~~



がいこくのむかしばなし

「スーホの白い馬」

大塚英三 再話/福音館書店

933わ「大草原の小さな家」

ローラ・イングルス・ワイルド -作/福音館書店

943し「動物と話せる少女

リリアーネ 5」

タニヤ・シュテーブナー著/学研教育出版

昔、モンゴルに、スーホという羊飼いの優しい少年がありました。

ある晩、草原で白い子馬を見つけ、大事に育てますが、王さまの競馬の大会で…

ローラ一家は、広々とした大草原での暮らしをもとめ、馬車で旅をします。

リリアーネが、1頭の馬(ストーム)であります。その馬が何かにおびえ、傷ついていることに気づいたり、リリアーネは、親友イザヤと共に馬の心の傷を癒し、問題を解決しようとします。

く、かるたあそびの意味もふくむよくなりました。

その後ずっと親しまれてきた「百人一首」は、今から

三百年前（江戸時代）に、「かるたあそび」になりました。（かるたあそびは、

ほかにも、ことわざを使った「江戸いろはかるた」などが

あります。）

つ選んだもの

です。

「百人一首」ってなんだろう？



百人一首に親しもう

した

に、藤原定家という人がひと百人の歌人の和歌を一人一首ずつ選んでいます。

「百人一首」とは、今から八百年くらい前の鎌倉時代

【和風月名】1月

1月の和風月名は「睦月」といいます。



これは、新しい年を、みんなで「なか睦まじく（なかよく）」いわう月という意味です。

みなさんもお正月をなかよく過ごせましたか？

また、元日（1月1日）は「新春」とも言われますが、お正月は春なのでしょうか？

実は、現在使われている暦（カレンダー）と昔の暦は、1か月ズレがあり、

昔の元日は現在の2月4日、「立春」にあたります。昔は「立春」から新しい年が始まると考えられていましたので、元日は「新春（新しい春）」でよかったです。

現在の元日はまだこれから寒くなる季節なので、あまり「春」という感じはしませんが、昔からの名残りで、「新春」という言葉が使われています。

（『きょうはなんの日？～記念日・人物・できごと・お祭り・事件～1月・2月』『日本の年中行事1月・2月』より引用）

